

SDU280 脆弱性公開ポリシー (Vulnerability Disclosure Policy)

2025年1月

ソーラーフロンティア株式会社

1. 目的

当社は、販売する製品「SDU280」の安全性および信頼性を確保するため、脆弱性に関する情報を適切に受け付け、迅速に対応する体制を整備しています。

このポリシーは、SDU280に関するセキュリティ上の問題を発見された方が、安全かつ適切に報告いただけるよう定めたものです。

2. 脆弱性の定義

本ポリシーにおいて「脆弱性」とは、SDU280のソフトウェア、ハードウェア、ファームウェアなどの製品に含まれるプログラム上の不具合や設計上ミスが原因で、機密性、完全性もしくは可用性に悪影響を与える攻撃可能なシナリオが一つ以上あるものと定義します。

3. 対象範囲

本ポリシーは、以下の製品に限定して適用されます。

- **対象製品名**：SDU280
- **対象範囲**：当社が販売・サポートを行うSDU280本体、ファームウェア、および関連ソフトウェア

対象外：

- 当社及び当社製品の販売契約を締結する当社販売店以外の販売経路または第三者が管理・改変した製品
- 顧客が独自に改造・再設定したシステムやソフトウェア
- 当社及び製造元が管理していないネットワーク、クラウド、外部サービス

4. 脆弱性の報告方法

脆弱性を発見された場合は、以下の方法でご報告ください。

- **報告先メールアドレス**：GX SOLAR-TECHNICAL_SUPPORT-INQUIRY@solar-frontier.com
- **件名**：「SDU280 脆弱性報告」
- **報告内容（推奨項目）**：
 - 発見日時
 - 問題の概要と再現手順
 - 該当する製品バージョンまたはファームウェア情報
 - 想定される影響範囲（推定で可）
 - ご連絡先（任意）

5. 報告の取り扱い

- 報告を受信後、**4営業日以内**に受領確認のご連絡を差し上げます。
- 内容を確認し、当社内のセキュリティチームおよび開発部門にて調査・対応を行います。
- 必要に応じて、結果や対応方針を報告者へご連絡いたします。

- 公開が必要と判断される場合は、関係機関（IPA等）と連携して適切に対応します。

6. 報告者へのお願い

- 発見した脆弱性を悪用したり、第三者に共有・公開したりしないでください。
- 実証テストは、システムや他利用者に影響を与えない範囲で実施してください。
- 個人情報や機密情報にアクセス可能な場合は、閲覧・保存を最小限にとどめてください。

7. セーフハーバー（Safe Harbor）

本ポリシーに基づき、**善意かつ誠実に脆弱性を報告した方に対しては、法的措置を講じません。**

ただし、前項に反する行為（不正アクセス、情報漏えい、業務妨害など）が確認された場合はこの限りではありません。

8. 公開方針

- 当社は、脆弱性の修正完了後、必要に応じて情報を公開します。
- 公開内容には、問題の概要、対応状況、CVE番号（該当する場合）、報告者のクレジット（希望がある場合のみ）を含めます。

9. 改定

本ポリシーは、必要に応じて随時見直し・改定を行います。改定内容は当社ウェブサイトで公開します。

10. 参考情報

- [IPA 脆弱性関連情報届出制度](#)